

株価指数は第 2 四半期に大幅に回復



Hamish Preston

アソシエイト・ディレクター、米国株価指数

この資料は、2020 年 7 月 8 日に弊社ブログ Indexology® に掲載された文書の翻訳版です。英語版と日本語版の間に内容の相違がある場合は英語をご参照下さい。

英語版：<https://www.indexologyblog.com/2020/07/08/indices-made-remarkable-recovery-in-q2/>

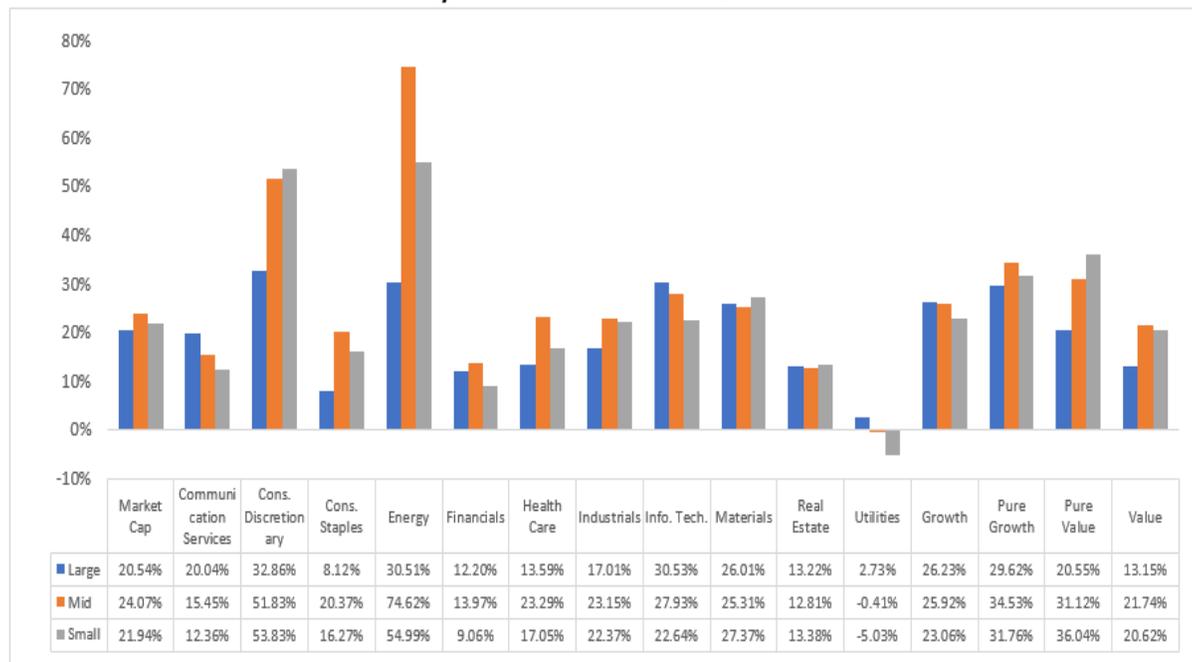
[コメントする場合はここをクリック](#) »

2020 年が波乱の幕開けとなったことを受け、多くの投資家は 2 桁台の下落を見込み、2020 年の予想リターンを再評価していたと思われます。新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で市場のセンチメントが不安定になっていましたが、市場は第 2 四半期に大幅に反発しました。S&P500（20.54%の上昇）及び S&P 中型株 400 指数（24.07%の上昇）は 1998 年以降で四半期として最も高いトータル・リターンを記録し、S&P 小型株 600 指数（21.94%の上昇）は四半期として過去最大の上昇となりました。

より広範に見ると、第 2 四半期には時価総額の 카테고리全体にわたりセクター指数及びスタイル指数の大半が反発しました。景気刺激策や米国経済の再開を示す一時的な兆候がプラス要因となり、14 の指数が四半期として過去最高のトータル・リターンを記録しました。コモディティ市場の上昇が支援材料となり、エネルギー・セクターが最も大幅に上昇し、一般消費財・サービス・セクター及び情報技術セクターがこれに続きました。

図表 1：米国のほぼ全てのセクター指数及びスタイル指数が第 2 四半期に反発

Exhibit 1: Almost all U.S. sector and style indices recovered in Q2.



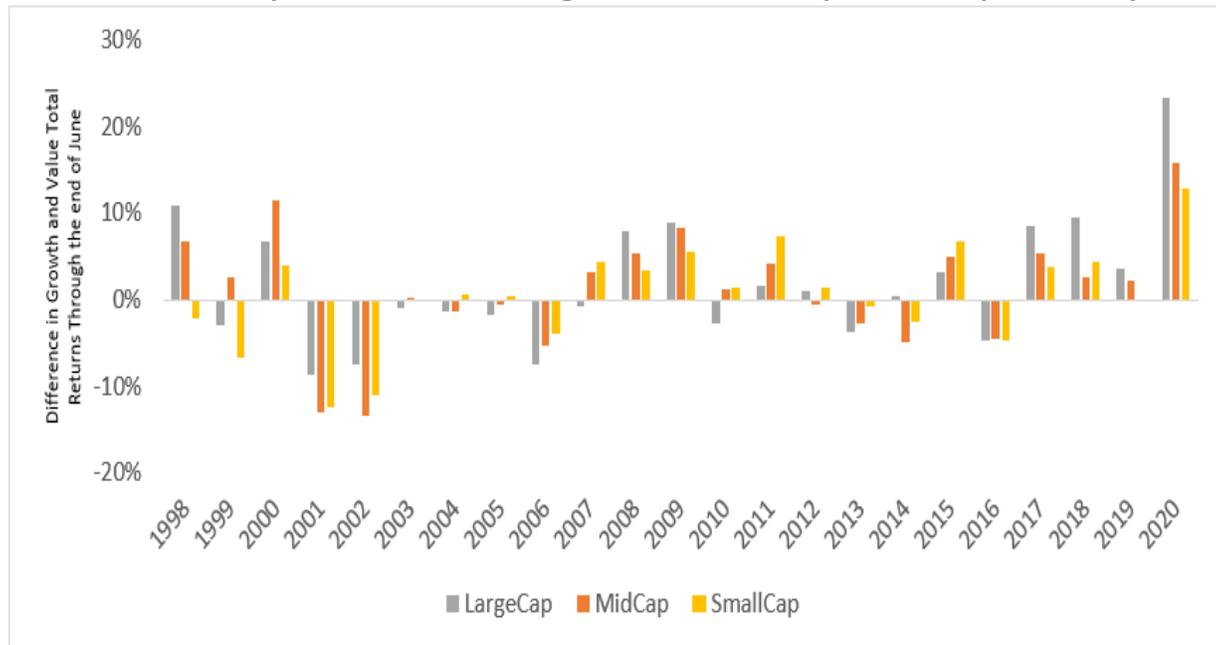
Source: S&P Dow Jones Indices. Data as of June 30, 2020. Chart shows quarterly total returns for the S&P 500, S&P MidCap 400, and S&P SmallCap 600 indices, as well as for their GICS sector and style indices. Past performance is no guarantee of future results. Chart is provided for illustrative purposes only.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2020 年 6 月 30 日現在のデータ。図表は、S&P500、S&P 中型株 400 指数、及び S&P 小型株 600 指数や、世界産業分類基準（GICS）セクター指数及びスタイル指数の四半期リターンを示しています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のためだけに提示されています。

春から夏に移るときには通常、スタイルの変化が起こりますが（少なくとも人々の服装が変化）、投資の観点からすると、変化はほとんど見られませんでした。つまり、過去 10 年の大半の動きと同様に、グロース株が引き続きバリュー株をアウトパフォーマンスしました。ただし、2020 年上半期におけるグロース株のアウトパフォーマンスの大きさは過去に前例のないものでした。具体的には、1998 年以降の各年の上半期と比較すると、グロース株とバリュー株の 2020 年 6 月末までの年初来のトータル・リターンの格差が最も大きくなりました。米国債利回りの低下と、これによる成長志向企業のバリュエーションへの影響が支援材料になったと思われます。

図表 2：グロース株がバリュー株をアウトパフォーマンスし、6 月末時点での過去最高のリターン格差に貢献

Exhibit 2: Growth outpaced value, contributing to a record returns spread at this point of the year.



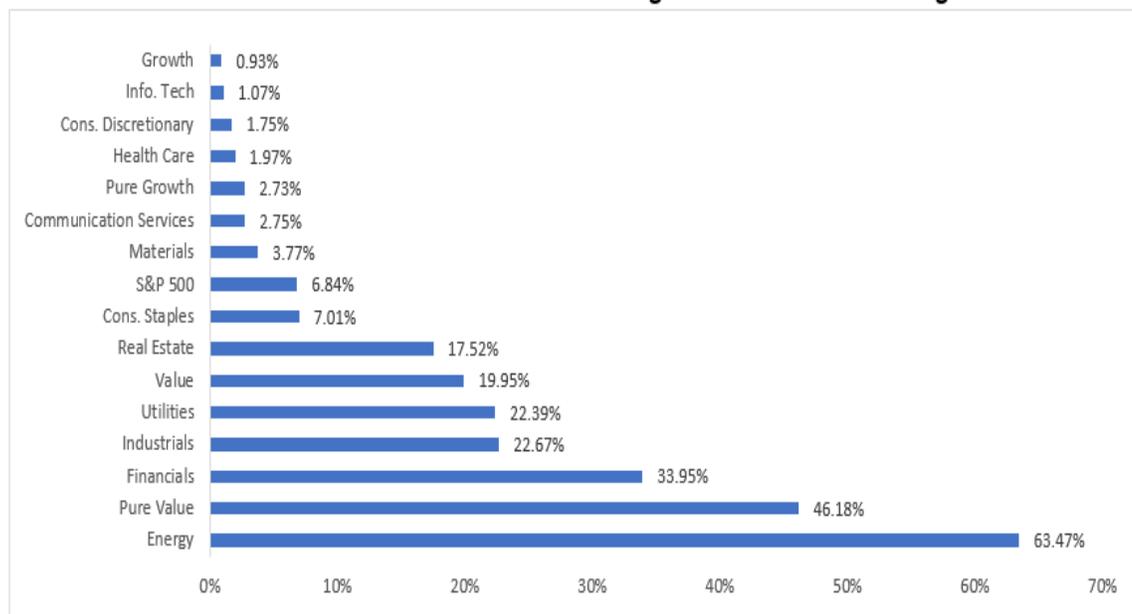
Source: S&P Dow Jones Indices. Data as of June 30, 2020. Chart shows difference in total returns for the S&P 500, S&P 400, and S&P 600 growth and value indices through the end of June for each year since 1998. Past performance is no guarantee of future results. Chart provided for illustrative purposes only.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2020年6月30日現在のデータ。図表は、1998年以降の各年の6月末時点でのS&P500指数、S&P中型株400指数、S&P小型株600指数のグロース株とバリュー株のトータル・リターン格差を示しています。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のためだけに提示されています。

第2四半期に力強い上昇となったことや、7月も概ね好調なスタートを切ったことにより、いくつかの指数が2020年の高値にあと一步のところまできており、S&P500の情報技術セクターは高値まであと1%の上昇が必要であり、テクノロジー企業の比率が高いS&P500グロース指数はあと0.9%の上昇が必要な水準まできています。一方、エネルギー・セクターは、直近の高値を回復するには依然として大幅な上昇が必要となっています。エネルギー・セクターは第2四半期に反発したものの、第1四半期の下落が余りにも大きかったことから、第1四半期の下落分を取り戻すことができませんでした。

図表 3：S&P500 に基づくいくつかの指数が 2020 年の高値にあと一步のところまできている

Exhibit 3: Several S&P 500-based indices are within striking distance of their 2020 highs.



Source: S&P Dow Jones Indices. Data as of July 7, 2020. Chart shows the total returns that are needed such that the S&P 500, as well as its GICS sector and style indices regain their 2020 highs, based on closing total return index levels. Past performance is no guarantee of future results. Chart provided for illustrative purposes only.

出所：S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス。2020年7月7日現在のデータ。図表は、S&P500 指数や、世界産業分類基準（GICS）セクター指数及びスタイル指数が 2020 年の高値を回復するのに必要なトータル・リターンを示しています（各指数の終値水準におけるトータル・リターンに基づいています）。過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。図表は説明目的のためだけに提示されています。

相場はどこに向うのでしょうか？市場のタイミングを計ることが困難となっており、2020 年がこれまでのところ異例な動きであったことから、さらに予測が難しくなっています。年内に何が起こるかについては誰にも分かりませんが、2020 年上半期の動きを見る限り、下半期は記憶に残るものになり、興味深いものになる可能性があります。

引用：

[energy](#), [GICS](#), [GICS sectors](#), [growth](#), [Hamish Preston](#), [information technology](#), [pure growth](#), [pure value](#), [S&P 500](#), [S&P GSCI](#), [S&P MidCap 400](#), [S&P SmallCap 600](#), [Style](#), [value](#)

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス免責事項

©S&Pグローバルの一部門である S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC 2020 年。不許複製。Standard & Poor's、S&P、は、S&Pグローバルの一部門であるスタンダード・アンド・プアーズ・ファイナンシャル・サービシーズ LLC (以下「S&P」)の登録商標です。「ダウ・ジョーンズ」は、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズ LLC (以下「ダウ・ジョーンズ」)の登録商標です。商標は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC にライセンス供与されています。本資料の全体または一部の再配布、複製、そして(または)複写を書面による承諾なしに行うことを禁じます。本資料は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC、ダウ・ジョーンズ、S&P 或いはそれぞれの関連会社(これらを合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス」という)が必要なライセンスを持たない地域におけるサービスの提供を行うものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC が提供する全ての情報は、個人とは無関係であり、いかなる個人、事業体または集団のニーズに合わせて調整したものではありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、その指数を第三者にライセンス供与することに関連した報酬を受けています。指数の過去のパフォーマンスは将来の結果を保証するものではありません。

指数に直接投資することはできません。指数が表すアセット・クラスへのエクスポージャーは、指数に基づく投資可能商品を通して得られます。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、第三者が提供し、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの指数のリターンに基づく投資リターンを提供することを目指す投資ファンド、或いはその他のビークルを提供、推奨、販売、宣伝、或いは運用することはありません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、指数に基づく投資商品が指数のパフォーマンスに正確に連動し、プラスの投資リターンを上げることについて保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス LLC は投資顧問会社ではなく、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルに投資する適否に関して表明することはありません。そうした投資ファンド或いはその他の投資ビークルへの投資決定は、本資料で言及されたいかなる部分も信頼して実行されるべきではありません。そうしたファンド或いはその他のビークルに投資しようとする投資家に対して、投資ファンド或いはその他のビークルの発行体またはその代理人が作成する目論見書または類似文書に記載されているように、そうしたファンドへの投資に伴うリスクを注意深く検討した上で投資することを助言します。指数への証券の組入は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによるその証券の買い、売り、または保有の推奨ではなく、また投資助言でもありません。S&P の米国のベンチマーク指数及びダウ・ジョーンズの米国のベンチマーク指数の終値は、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスが、指数構成銘柄の各主要取引所が設定する終値に基づいて計算します。終値は S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスがサードパーティ・ベンダーの 1 社から受け取り、別のベンダーから届く価格と比較することにより検証されます。各ベンダーは終値を主要取引所から受け取ります。日中の実時間価格は、2 次検証を経ずに同様に計算されます。

これらの資料は、信頼できると考えられる情報源から一般に公衆が入手できる情報に基づき、情報提供のみを目的として作成されたものです。本資料に記載されるいかなる内容(指数データ、格付、クレジット関連の分析とデータ、モデル、ソフトウェア、或いはその他のアプリケーションまたはそれからの出力)も他のいかなる部分(以下「内容」という)も、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスによる事前の書面による承認なくして、いかなる形式といかなる手段によっても、改変、リパースエンジニアリング、再製または配布、或いはデータベースまたは検索システムへの保存を行うことはできません。内容を、不法な或いは未認可の目的に使用してはいけません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス及びいかなるサードパーティ・データ・プロバイダー及びライセンサー(合わせて「S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者」という)も、内容の正確性、完全性、適時性或いは利用可能性を保証しません。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる過誤、遺漏についても、原因の如何を問わず、内容を用いて得られた結果について責任を負いません。内容は、「現状」ベースで提供されています。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、特定の目的または利用に対する販売可能性または適合性についてのいかなる保証も、バグやソフトウェアのエラーまたは欠陥がないこと、内容の機能が中断されないこと、或いは内容が何らかのソフトウェアまたはハードウェア構成により動作することの保証も、以上を含みそれに限定されない、あらゆる明示的または暗示的保証も拒否します。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス当事者は、いかなる場合も、いかなる当事者に対しても、内容の使用に関連して発生する、いかなる直接的、間接的、偶発的、典型的、補償的、懲罰的、特殊な或いは結果的な損害、費用、経費、法的費用、或いは損失に対しても(逸失収入または逸失利益、及び機会費用を含みそれに限定されず)、たとえ損害の可能性について事前に通告を受けていようと、責任を負いません。

S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各事業部の活動の独立性と客観性を維持するために、それぞれの活動を他から隔離しています。その結果、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスの一部の事業部は、他の事業部では入手できない情報を保有する可能性があります。S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、各分析プロセスの中で受け取った非公開情報の機密を守る方針及び手順を確立しています。

さらに、S&P ダウ・ジョーンズ・インデックスは、広範なサービスを、証券の発行体、投資顧問会社、証券会社、投資銀行、その他の金融機関及び金融仲介業者など多くの組織に提供しています。したがって、これらの組織から報酬その他の経済的便益を受ける可能性があります。これらの組織には、証券やサービスを推奨し、格付け評価し、モデルポートフォリオに組入れ、評価するか別の対応を行う組織が含まれます。

最新のブログ 「[Indexology](#)」 (英語) をご覧になりたい方は、こちらのサイト

www.indexologyblog.com よりご登録いただくと、更新の都度メッセージが届きます。